

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- たくさん友達つくる会 ～地域の子育て応援します！～
…………北九州市立青葉市民センター
- 隣組どうしが頑張る公民館活動
…………古賀市庄北区公民館
- 初めての力又一体験教室
…………柳川市立大和校区公民館
- おおとう未来広場～子どもの未来と地域を繋ぐ公民館～
…………大任町公民館

こちら県公連

- 平成30年度福岡県公民館実践交流会～報告～

平成31年3月 公民館情報通巻143号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

シリーズ：特色ある公民館活動

◆縁日◆



北九州市立青葉市民センター

◆文化祭◆



古賀市庄北区公民館

◆カヌーを楽しむ児童たち◆



柳川市立大和校区公民館

◆茶道の様子◆



大任町公民館

(写真は本文にも掲載)

たくさん友達つくる会 ～地域の子育て応援します！～

北九州市立青葉市民センター

【地域の概要及び経緯】

青葉地区は、北九州市の北西部に位置し、緑豊かで閑静な新興住宅地です。約30年前に青葉台ニュータウンとして開発され、人口は7,566人*、住民のほとんどが他地域から引っ越してきているため地縁関係が希薄傾向にあります。かつては、地域内の小学校の児童数が日本一のマンモス校と言われていましたが、現在は5歳未満の割合が、他地域と変わらず3.5%*と少子化が進んでいます。また住宅の大半が戸建てで、近所とのつながりが薄く、子育てが孤立化している家庭が多い現状があります。そこで、子育てサポーター（養成講座を受講し登録）が、フリースペース「たくさん友達つくる会」を実施し、親子が気軽に集える場所を提供しています。サポーターが親子にそっと寄り添うことで、参加者がつながりを持ちやすくなり、地域の中で安心して子育てができるようになっていきます。（*：平成29年3月現在）

【活動内容】

毎月第1・3金曜日の10時～12時に開催しています。第1金曜日は、若松区役所保健福祉課の保健師・看護師による『妊産婦・乳幼児何でも相談』を実施し、乳幼児の身長・体重の計測と個別に相談を受けています。第3金曜日は、子育てサポーターと季節感ある楽しいプログラムを企画し、気軽に市民センターに来ていただくきっかけづくりをしています。

【平成30年度プログラム】

4月	リトミック	8月	縁日	12月	クリスマス会
5月	保健師さんが来ます	9月	絵本を楽しもう	1月	保健師さんが来ます
6月	子どもに合った園選び	10月	ハロウィン	2月	豆まき
7月	保育士さんと遊ぼう	11月	お芋ほり	3月	フリースペース



←【縁日】



【お芋ほり】→

【成果と課題】

成果としては、参加していた子育て中の母親が子育てサポーター養成講座に参加後、サポーターとして登録し、「支えてもらう側」から「支える側」として活動しています。同世代の先輩ママとして、参加者親子と近い立場であるため、密接な関係づくりができています。

課題としては、現在、市民センターにボランティア登録をしている子育てサポーターは20名いますが、実質的に活動をしている方はその半数です。登録し活動できていない子育てサポーターの活動へのきっかけづくりや、新たに子育てサポーターとして活動できる人材の発掘をする必要があります。それと同時に、未だ子育てが孤立化している親子に市民センターにきてもらうために何をすればいいのか検討していかなければなりません。

【問合せ先】 北九州市立青葉市民センター

〒808-0143 北九州市若松区青葉台西一丁目14-1

TEL 093-742-5331 FAX 093-742-5332

隣組どうしが頑張る公民館活動

古賀市庄北区公民館（自治公民館）

【古賀市庄北区の概要】

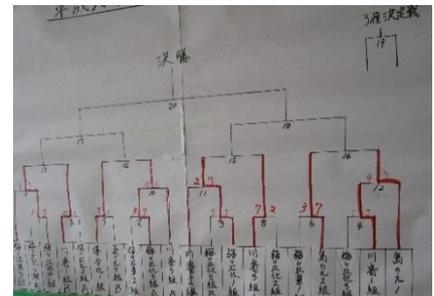
古賀市は、西日本の中核都市である福岡・北九州両指定都市の間に位置し、南北に JR 鹿児島本線、国道 3 号、国道 495 号、主要地方道筑紫野・古賀線が並走しており、古賀駅をはじめとする JR3 駅（古賀駅・千鳥駅・ししぶ駅）と九州自動車道古賀インターチェンジが位置する交通の要衝です。当庄北区公民館は、国道 3 号線に隣接した住宅地にあり、高齢化が進むなか、区民の融和・交流を柱とした公民館活動を行っています。

【公民館活動の特色】

庄北区の公民館は、夏まつりや敬老祝賀会、文化祭など年間概ね 7 つの活動を行っています。活動は全て、組合単位を意識し、組合からの出品、出し物、チームの参加など、まずは 16 組が、組合単位で協力しながら地域の活動に参加することを大事に考えています。



【隣組対抗ペタンク大会】



年に 3 回ある、隣組対抗の軽スポーツ大会では、組合で一致団結し、協力する意識を高めていきます。その為、文化祭や夏まつりの出し物も各組独自のものが出され、賑わいをみせています。



【組合で結成されたコーラスグループ
文化祭「楽しみまショー」】

【今後の成果と課題】

出し物の合間に組合の紹介があるなど、組長さんを中心に、それぞれの組合がつながりを大事にするようになってきました。

文化祭の時に、ある組合から紹介があった内容

「3 組に今年若い家族が加入されました。高齢者が多い組合なので大変喜んでます。庄北区の皆さんも歓迎してやってください。」

高齢化が進む中、公民館活動の担い手不足の懸念はありますが、現在、地域で活躍しているシニア世代の方々には、引退の時期まで地域活性化に向けての土台づくりをしていただき、先では上手く代替わりができるような方法を模索中です。

【問合せ先】 古賀市生涯学習推進課 公民館係
〒811-3103 古賀市中央2丁目13-1
TEL 092-944-1931

初めてのカヌー体験教室

柳川市立大和校区公民館

【地域の概要及び経緯】

柳川市は、福岡県南部、筑後平野の西南端に位置し、古くから開拓・干拓された干拓地が魚鱗状に広がる海面干拓地帯です。干満差日本一の有明海に面しており、大潮時には6mに達し、干潮時には広大な干潟が現れます。

また、柳川市出身の国民的詩人、北原白秋の詩情を育んだ水郷柳川の風景が国指定名勝「水郷柳河（すいきょうやながわ）」に指定されるなど、城下町の掘割は、川下りコースとして観光に活用され、年間約142万人の観光客が訪れています。

大和校区公民館は、市内にある18校区公民館のうちの一つで、平成26年に拠点施設である大和コミュニティセンターが建設されました。

【活動内容】

大和コミュニティセンターの目の前にあるクリークが、昨年度に整備されました。そこで、きれいになったクリークを子どもたちに開放し、楽しく遊んでもらおうと初めて小学生カヌー体験教室を企画しました。併せて、危険箇所やライフジャケットの重要性などを学ぶ「水辺の安全教室」を開催しました。カヌー教室は夏休み期間中の2日間実施し、地元の大和小学校4～6年生の児童13人が参加しました。当日は、全国大会常連である三潴高校カヌー部の柳川市出身の生徒らが指導者役を務めました。参加児童たちは、カヌーの乗り方やパドルの使い方などを教わりました。保護者や関係者が見守る中、初めはおっかなびっくりでしたが、操作に慣れるとパドルを操って水面をすいすいと進み、水上スポーツの魅力に触れることができました。2日目のカヌー体験後は、流しそうめんも行い、参加児童や関係者全員で談笑しながら美味しくいただきました。



【写真1：パドルの使い方】



【写真2：カヌーを楽しむ児童たち】

【成果と課題】

成果は、三潴高校と連携し、カヌーの指導を地元出身の生徒らが務めたことにより、参加児童が、年齢の近い先輩たちに憧れ、難しいことにも挑戦する心を養えたことです。また、指導役の生徒らは、地元への愛着を感じ、後輩と絆を深めてくれました。参加した児童からは「カヌーがなかなか前に進まなくて難しかったけど、川の上を進むと風が気持ちよかった」との感想が多かったです。このカヌー体験教室を通じて、学びと活動の好循環につながっていくことを期待しています。

課題は、艇庫からカヌーを運搬する協力者の確保です。

今回が初めての試みでしたが、大変好評だったので、来年度も開催を検討しています。

【問合せ先】 柳川市立大和校区公民館

〒839-0251 柳川市大和町明野426-1

TEL 0944-76-3269 FAX 0944-76-3269

E-mail yamato-cc@sound.ocn.ne.jp

おおとう未来広場
～子どもの未来と地域を繋ぐ公民館～

大任町公民館

【地域の概要及び経緯】

大任町は福岡県の北東部に位置し、田川郡のほぼ中央にあります。町の中心部には英彦山川が流れ、町域の多くは田川盆地に属しており、壮大な山並みに囲まれた、自然豊かな町です。

大任町教育委員会では、子どもたちが30歳になるまでに、精神的にも経済的にも自立した大人になるという、「30歳の自立」を大きな目標としています。そのために、就学前年～中学3年生までの10年間を自立の基礎を築く期間と考え、それを軸に据えた地域力の強化を目指しています。

【活動内容】

平成27年12月から、放課後子ども教室事業として開始した「おおとう未来広場」では、町内2小学校の1～3年生の児童を対象に、放課後の安全・安心な居場所の確保とともに、「社会で生きていく大人」にするため、地域住民等のボランティアによる協力を得ながら、毎週水曜日の放課後、大任町公民館において、様々な学習や体験活動を行っています。

主な活動としては、水墨画教室、絵てがみ教室、折り紙教室、茶道、生け花、門松づくり等の体験活動を行っています。

このような様々な体験活動を通して、普段、なかなか接する機会のない異世代の地域の大人たちとの交流をすることにより、地域との関わりや、絆を深めるとともに、子どもたちが、自分たちのふるさとを知ること、地域を見つめ直し、ふるさとを愛する心や、地域の伝統文化を大切に作る心なども育てています。



【生け花の様子】



【茶道の様子】

【成果と課題】

これまで、大任町公民館では、子どもたちと地域の大人が交流する場がほとんどありませんでしたが、この事業を通じて、お互いの顔と名前を覚え、活動中だけでなく、普段から町で出会った時に、挨拶や声掛けをする機会が少しずつ増え、地域ボランティアの方からも、「子どもたちから声を掛けて貰って嬉しい。」という言葉が頂く様になりました。

しかし、まだまだ地域ボランティアの登録が少なく、ボランティアの方を、どのように増やしていくかが今後の課題です。

公民館は、子どもたちと地域の大人を繋ぐ、貴重な交流の場です。このような重要な役割を持つ公民館を、最大限に活用し、子どもたちが、将来、自立した大人になっていく成長の過程を支え、見守るという地域環境の輪を、公民館から発信して、広げていきたいです。

【問合せ先】 大任町教育委員会

〒824-0512 福岡県田川郡大任町大字大行事 3067

TEL 0947-63-3110 FAX 0947-63-4356

平成30年度 福岡県公民館実践交流会

～ 報告 ～

平成30年度福岡県公民館実践交流会を平成31年1月23日（水）に、宗像ユリックス（宗像市）にて開催しました。当日は、冷たい風が吹く中にも春の温かな日差しを感じさせる天候のもと、県内各地から916名の公民館等関係者に御参加いただき、8分野、16事例の実践発表をもとに活発な意見交換や情報交換が行われました。

アンケートによると、回答者の96%の方から「大変参考になった」「参考になった」という肯定的な評価をいただきました。各地域の魅力を生かした取組をはじめ、地域独自の課題に対する取組や人材育成に対する取組などの実践発表が行われ、参加者にとってとても有益な情報でした。また、「運営に関わる人材の確保」、「予算・事業費等」、「活動を支える団体やその連携」、「事業の周知や情報発信」など、実践する上での工夫点や事業構築上の重要な点等について、多くの質問や意見が飛び交い、活発な議論が行われました。

これも御発表いただいた公民館等関係者の皆様の地域をさらによりよくしたいという思いやそれを実現させようとしている様々な工夫など、熱心な取組の証だと感じます。大変有意義な実践交流会となりました。

一方、参加者が集中したため会場に入りきれず、聞きたい発表が聞けない分科会がでるなど、運営上の課題も見られました。今回の反省をもとに、更に充実した交流会となるよう改善を図って参りたいと思います。

次年度は2020年1月22日（水）、会場を本年度と同じ「宗像ユリックス」にて予定しております。どうぞよろしく願いいたします。

